



令和5年2月10日

各 位

上場会社名 栗林商船株式会社
代表者名 代表取締役社長 栗林 宏吉
(コード番号 9171 東証スタンダード市場)
問合せ先責任者 常務取締役経理部管掌 小谷 均
(TEL. 03-5203-7982)

令和5年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当第3四半期の業績動向を踏まえ、令和4年11月11日に公表いたしました令和5年3月期通期の業績予想について、下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 令和5年3月期通期の連結業績予想数値の修正(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	49,500	1,600	1,900	1,200	94.47
今回発表予想(B)	50,500	2,200	2,500	1,750	137.65
増減額 (B-A)	1,000	600	600	550	
増減率 (%)	2.0%	37.5%	31.6%	45.8%	
(ご参考) 前期実績 (令和4年3月期)	45,255	104	630	90	7.17

2. 修正の理由

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症抑制と経済活動の両立が進む中、海運事業においては、北海道航路では太宗貨物であった紙製品の輸送量は減少しているものの、雑貨をはじめとした他の品目は市況が好調であったこと、燃料油価格が予想を下回ったこと等から、増収、増益となりました。

ホテル事業においては、全国旅行支援制度の継続や訪日旅行の再開、サウナ施設の改修等により宿泊需要を着実に取り込むことができたため、宿泊客数は回復したことから、業績は改善しております。

海運事業においては、貨物輸送量は安定的に推移し、燃料油価格が予想より下回る見通しであること、ホテル事業においては、新型コロナウイルス感染症の影響から徐々に脱しつつあるものの閑散期の宿泊動向に不透明感があること等を踏まえ、通期連結業績予想を修正いたしました。

(注) 上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上